

家庭ごみの有料化について

1 審議会における検討経緯

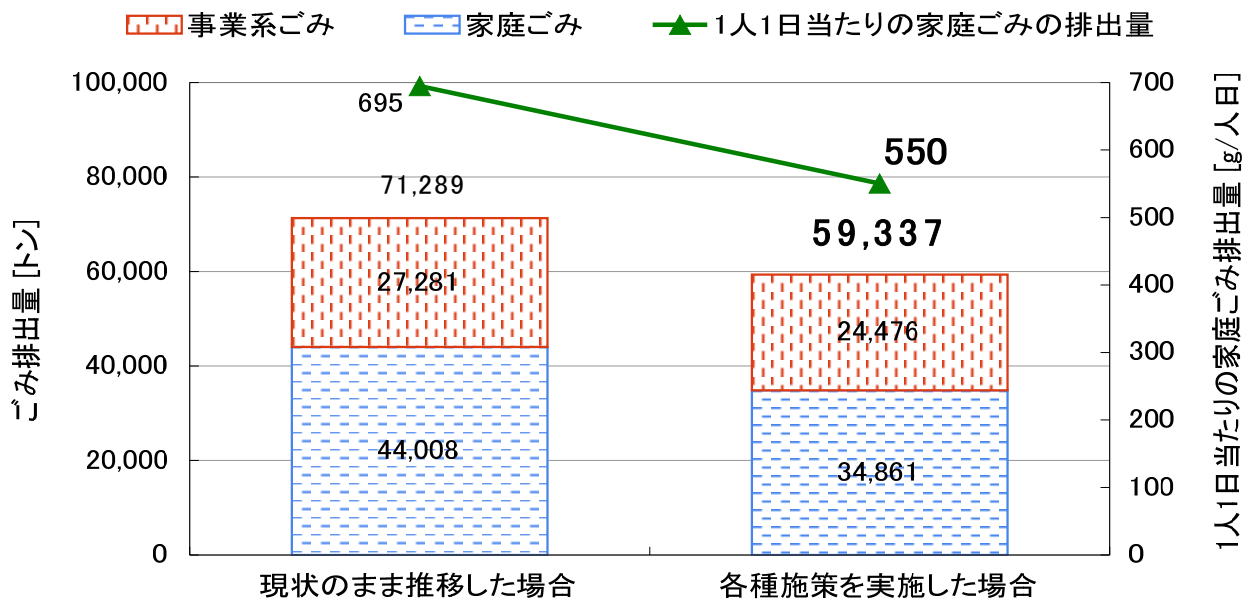
平成 12 年 10 月	<p>【ごみの減量・リサイクルに関する提言】</p> <p>苫小牧市廃棄物減量等推進審議会</p> <p>「将来的な家庭ごみの有料化を検討する必要がある」</p>
平成 19 年 3 月	<p>【答申書 家庭ごみの減量化施策とその具体的方策について】</p> <p>苫小牧市廃棄物減量等推進審議会</p> <p>「有料化はごみ減量化に有効な方策であるとともに、費用負担の公平性も図ることができるが、新たな市民負担を伴うことから、それ以前にごみ減量化とリサイクルの推進に取り組むべき」</p>
平成 22 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会に対して、「家庭ごみの有料化について」を諮問
平成 22 年 9 月 平成 22 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 苫小牧廃棄物減量等推進審議会 4 回開催
平成 22 年 12 月 平成 23 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「答申書 家庭ごみの有料化について」起草委員会 2 回開催
平成 23 年 2 月 平成 23 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 苫小牧廃棄物減量等推進審議会 2 回開催
平成 23 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ● 苫小牧廃棄物減量等推進審議会より、「家庭ごみの有料化について」を答申 <p>「家庭ごみを有料化し、大幅なごみ減量を目指すべき」</p>

2 家庭ごみ有料化とごみ減量の関係

平成 22 年 3 月策定の苫小牧市一般廃棄物処理基本計画では、ごみ減量とリサイクル推進のための数値目標を掲げています。

現状のまま推移した場合、ごみ減量目標の達成は難しく、家庭ごみ有料化を含む様々な施策を実施することによって、数値目標が達成可能と推計しています。

なお、様々な施策を実施した効果は、26 年度時で 1 万 2,000 トン程度と推計していますが、家庭ごみ有料化による減量効果は全体の 56% を占めているため、家庭ごみ有料化を実施することなく、大幅なごみ減量を達成することは不可能であると考えています。



前期目標 (H26)

- 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量 **550 グラム** (H21 実績, 698 グラム)
- リサイクル率 **28%** (H21 実績, 17.3%)

